

令和3年度 いじめ防止標語コンクール

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています

※受賞当時の学校と学年です

優秀賞作品

強さとは 人を守る 思いやり
あいことば 気付く・寄り添う 声かける

弘前市立岩木小学校
3年 三浦 愛莉

十和田市立第一中学校
2年 野月 悠生

地域校4校におけるさらなる活性化に向けた取組や支援策をご紹介します!

青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画において「地域校」として配置する鱒ヶ沢高校、六ヶ所高校、大間高校、三戸高校の4校については、令和3年度から学校職員及び自治体職員などを委員として設置した**地域校活性化協議会**において、これまで各校の活性化の方向性に関する協議を進め、4校全ての方向性が決定しました。学校及び地域等が実施していく活性化の方向性と活性化策の一部をご紹介します。

鱒ヶ沢高校

活性化の方向性

- ①地域で活躍できる人材(*)の育成
- ②地域と連携した教育活動の充実
- ③部活動の魅力化に向けた取組の充実
- ④地元中学校や地元以外(県外含む)からの入学者数増加に向けた取組の充実

〈学校における活性化策(一部)〉

- 総合的な探究の時間を活用したドローンの国家資格の取得に向けた積極的な取組
- SNS等を活用したSBP(ソーシャルビジネスプロジェクト)研究会の活動の充実・情報発信
- 地域資源を活用した部活動の新設(例:ゴルフ部、スノーボード部、三味線部等)

〈地域等による活性化策(一部)〉

- 入学時の教科書・シューズ・ジャージ代の補助
- 鱒ヶ沢高校の生徒が無料で利用できる「あじバス」の運行や、深浦町内の生徒に対するスクールバスの新規運行(部活動参加のための土日祝日の運行も含む)

※「人材」:人は青森県にとっての「財(たから)」であるという基本の考えから、「人材」を「人財」と表記しています。

六ヶ所高校

活性化の方向性

- ①進学希望実現に向けた取組の充実～進学実績を上げるために～
- ②地域と連携した教育活動の充実～魅力ある部活動、特色ある学校行事など～
- ③地元中学校からの入学者数増加に向けた取組の充実～広報活動の充実～

〈学校における活性化策(一部)〉

- 5教科少人数授業や学力向上セミナー(放課後講習等)の充実
- 学習アプリのさらなる有効活用
- 総合的な探究の時間を活用し、将来の仕事に繋がるような学習の展開

〈地域等による活性化策(一部)〉

- 学習アプリの経費補助
- 県内及び東北地区の大学見学会参加に対する経費補助
- 公務員試験対策講座受講に対する経費補助
- 通学バスの運行と部活動遠征に係る交通費補助
- 資格取得を目指す生徒への地域人材を活用した講習会の開催



大間高校

活性化の方向性

- ①進路希望の実現に向けた学力の向上
- ②資格取得の充実
- ③地域資源を活用した教育活動の充実

〈学校における活性化策(一部)〉

- メンター制度を取り入れた全教員による個別の学習支援
- 全学年を対象にした公務員試験対策講習会の開催
- 地域の外部人材を活用したキャリア教育の充実

〈地域等による活性化策(一部)〉

- 学習アプリを活用した学習環境の整備
- 進学模試や公務員模試等に要する費用の補助
- 大学へ進学を希望する生徒に対して、長期休業中の予備校短期講習に参加する経費補助
- 資格取得を目指す生徒の受検に要する経費補助
- 総合的な探究の時間等において地域人材を活用した出前授業等の実施



三戸高校

活性化の方向性

- ①地元中学校や地元以外(県外含む)からの入学者数増加に向けた取組の充実
- ②地域と連携した教育活動の充実
- ③自己実現に向けた教育活動の充実
- ④部活動の魅力化に向けた取組の充実

〈学校における活性化策(一部)〉

- 総合的な探究の時間を活用したSDGsをテーマとした学習における地域連携の強化
- 大学教授等を講師として招く講習会「三戸大学」による進学意識の向上
- 中学校と高校の部活動合同練習の開催

〈地域等による活性化策(一部)〉

- 町内外の生徒に対する通学費の支援
- 資格取得費・検定受検料補助
- 海外留学派遣枠の活用(青年留学生の派遣や受け入れを行う「三戸ロータリークラブ」において募集)



第2期実施計画の概要はこちら▶



その他高校教育改革に関する取組はこちら▶



響かせよう産業の音色 ~ 縄文の風吹く青森で ~

入場無料

		10/15 (土)										10/16 (日)									
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	16			
青森市	メインアリーナステージ	総合開会式	参加・交流イベント チア演技、参加型イベント、青森県紹介、県内観光スポット中継、次期開催県PR、スタンプラリー抽選								総合開会式	参加・交流イベント 参加型イベント、スタンプラリー抽選 トークイベント「青森県の産業の魅力語る」								総合開会式	
	メインアリーナ	作品展示(体験含む)、展示販売																			
	サブアリーナ	県内企業魅力体験																			
	玄関アプローチ(大屋根下)	意見・体験発表																			
	エントランス	文部科学省事業発表会【発表】																			
	2階テラス	文部科学省事業発表会【展示】																			
	3階コンコース	全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト(農業部)																			
	3階ホール	わくわく水族館(水産部)																			
	アピオあおもり	わくわく子ども商人(商業部)																			
	東奥学園高等学校	高校生カフェ(特別支援部) 作品展示、展示販売																			
浜町埠頭	技能検定披露																				
アップルパレス青森	企業・大学・専門学校等の展示																				
弘前市	全国高校生クッキングコンテスト(家庭部) 【リハーサル】																				
青森県武道館	事前説明会																				
	全国高校生介護技術コンテスト(福祉部)																				
	実習船青森丸 一般公開 タッチプール(水産部)																				
	全国産業教育振興大会																				
	全国高等学校ロボット競技大会(工業・情報部) 【車検・公式練習】																				
	閉会式																				

大会弁当は
こうして
作られました



(大会弁当実行委員会での検討の様子)

本県高校生と丸高高橋蒲鉾店が連携し、食材や調理方法をとおして、本県の魅力を感じてもらえるようなお弁当を企画しました。10/15(土)は「たんげめえ弁当」、10/16(日)は「青森のさ、うめえに決まってるすけ!! 弁当」が提供されます。
たくさんのお申込み、ありがとうございました。
※大会当日の販売はありませんので、ご了承ください。

【主催】 第32回全国産業教育フェア青森大会実行委員会、文部科学省、青森県、青森県教育委員会、青森市、青森市教育委員会、公益財団法人産業教育振興中央会、全国産業教育振興会連絡協議会、青森県産業教育振興会
【後援】 総務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、弘前市、弘前市教育委員会、青森県商工会議所連合会、青森県商工会連合会、青森県中小企業団体中央会、一般社団法人青森県経営者協会、青森経済同友会、一般社団法人青森県工業会、青森県農業協同組合中央会
【特別協賛】 東京工科大学 日本工学院 青森市中央卸売市場 青森魚類株式会社

無料シャトルバス（詳細はWebサイトへ）



専門高校※等の日頃の学習成果を発表する本大会は、県内からは35校、全国からは300を超える学校が参加する専門高校等の学びの祭典です。県内6か所の会場のうち、ここではマエダアリーナ（メイン会場）の催事をいくつかピックアップして紹介します。

※農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉の8つの分野で専門的な教育を行う高校

作品展示 (体験含む)

全国及び本県の学校ごとにブースを設け、取組を展示します。全国展示では、災害時非常電源車(EV)や、宇宙エレベーター(地球と宇宙ステーションを繋ぐテザーを昇降する輸送機)、映画STAR WARSで登場するライトセーバーの実物大を製作したもの等を展示します。本県の学校でもたくさんの展示物がある他、下記のような**無料体験コーナー**もあり、中にはお土産としてお持ち帰りできるものも準備しています。

【体験内容】(抜粋)ヒバ材を利用したしゃもじ作り、簡易水耕栽培キット製作、キーホルダー製作(真鍮プレートへのネーム刻印)、名刺作成体験、国産ヒノキ使用ミニチェアー製作、ロープワーク体験、箸置き・箸袋作り体験、聴診体験、包帯法体験、ポッチャ体験、縄文体験、ねぶた体験、クリーニング体験/レゴロボットプログラミング体験、皆田和紙のキーホルダー作り(文科省展示エリア)

展示販売

全国の専門高校が開発した商品の他、農業高校が栽培した各種農産物や水産高校が加工した缶詰はもちろん、本大会に向けて商業高校等が開発した商品や特別支援学校が製作した県産材の品々を販売します。

【販売品】(抜粋)リンゴ、コメ、ハクサイ、キャベツ、ネギ、おかずみそ、モモジャム、プルーンジャム、わかやまみかんのパウンドケーキ、とまどし、とまみそ、弘南鉄道チャレンジパン、青森限定ポテトチップスネギ塩(十和田ネギ使用)、三沢おつまみごぼう、十和田バラ焼きのたれ、清水森ナンバみそ、サバ水煮缶詰、ホタテウニ和え缶詰、さけたけ缶詰、愛知丸が釣ったまぐろと明太子のごはんじゅれ、シャコちゃんサブレ、こぎん刺し製品、県産材カトラリー、藍染製品、青森ひば製品

参加・交流イベント

大会運営の中心となる24名の生徒実行委員会によるステージイベントで、県内観光スポットをオンラインで繋ぐ中継や、青森ねぶたをテーマとした参加型イベントを行います。また、自身も津軽塗のジュエリー等のデザインを手掛けるタレントの王林さんが「青森県の産業の魅力」を語るトークイベントの他、青森中央高校の生徒がデザイン・製作した衣装でりんご娘の皆さんが活動紹介と歌を披露する予定です。



王林

りんご娘

県内企業魅力体験

学校と地元企業等が連携して取り組んだ学習内容を展示する他、体験できる下記メニューも準備しています。

10/15 土	10:30~12:00	東奥学園高校 × (社福)平元会 特別養護老人ホーム正寿園 負担の少ない介護技術体験	十和田工業高校 × ITH(同) ドローン操縦シミュレータ体験
	12:20~13:50	青森第一高等養護学校 × あおもり藍産業(株)・あおもり藍産業(協組) 「あおもり藍」の製品紹介と展示	尾上総合高校 × (株)ブナコ ブナコ製品工作体験
	14:10~15:40	三本木農業高校・三本木農業恵拓高校 × 太子食品工業(株) 豆腐とスイーツ作り体験	黒石高校 × 青森オリンパス(株) 内視鏡操作技術体験
10/16 日	9:30~11:30	八戸商業高校 × (株)アイティワーク Androidアプリ制作体験	青森中央高校 × (同)てんとうむし 「光るこぎん」製品工作体験
	12:00~14:00	八戸水産高校 × (有)ダイブサービス・アネシス 潜水服装着体験、水中ドローン展示	

ファッションショー

弘前実業高校服飾デザイン科によるステージイベントです。テーマに沿った衣装はデザインから全て手作りしており、ランウェイでの表現力は見ごたえがあります。

また、冬場の厳しい地吹雪等をしのぐための伝統的な防寒具である「角巻」をリユース・リサイクルした「デザイン角巻」ファッションも見どころです。



企業・大学・専門学校等の展示

エネルギーや環境問題に取り組む企業や津軽びいどろ等の工芸品を製作する企業等の他、本県高校生の進学先ともなる大学等の魅力を発信するブースを出展します。

【展示企業・大学・専門学校等】あおもり食品(株)、プライフーズ(株)、(株)青南商事、北洋硝子(株)、(株)角弘、ヤンマーアグリジャパン(株)、(株)みちのくポタ、(一社)青森県建設業協会、日本原燃(株)、V-farms(株)、(社福)平元会、(株)共同物流サービス、実教出版(株)、(株)NOLTYプランナーズ、5Company(株)、東京工科大学・日本工学院、弘前大学、八戸工業大学、八戸学院大学、弘前医療福祉大学、柴田学園、青森田中学園、明の星短期大学、青森職業能力開発短期大学校、青森県専修学校各種学校連合会

催事内容は自然災害や新型コロナウイルス感染症等の影響により、変更する場合があります。最新情報はWebサイトでご確認ください。

特別支援学校高等部生徒の
キャリア教育・職業教育を
推進します

青森県特別支援学校技能検定・発表会

期日 令和4年10月20日(木)

会場 新青森県総合運動公園マエダアリーナ

今年度は、感染対策を施しながら、3年振りに一堂に会し有観客で開催する予定です。(PC入力分野のみ、各学校での事前実施)

大会はどなたでも見学できます！高等部生徒が真剣に取り組む様子をぜひご覧ください。

※今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては、無観客での開催や大会を中止とする場合があります。詳しくは、大会事務局Webページをご確認ください。

青森県特別支援学校技能検定・発表会は、県内の特別支援学校高等部の生徒が授業で身に付けた技能を評価する職業技能部門と、生徒が思いや願いを表現するコミュニケーション部門の2部門6分野で実施しており、例年270名以上の生徒が検定・発表に参加しています。「特別支援学校就職サポート隊あおもり」のサポーター企業等のご理解とご協力の下、平成27年度のプレ大会を含め、今年度で7回目の開催となります。

職業技能部門

※昨年度の様子



清掃分野 (応用コース・基礎コース)



接客サービス分野



PC入力分野

清掃分野と接客サービス分野は2年続けての中止となり、各校で校内の大会等を実施しました。今年度はマエダアリーナで実施しますのでぜひご覧ください。

※PC入力分野は今年度も各学校での事前実施となります。

コミュニケーション部門

※昨年度の様子



プレゼンテーション発表分野



ポスター発表分野



パフォーマンス発表分野

コミュニケーション部門の3分野は、発表者の学校と審査員のいる学校とをオンラインで繋ぎ、発表と質疑応答をしました。

今年度は、マエダアリーナで発表を行います。生徒の研究発表やダイナミックなパフォーマンス等をぜひご覧ください。

大会の開催案内・当日の様子及び各分野の指導マニュアル・評価票は、大会事務局校(県立青森第一高等養護学校)のWebページに順次掲載されます。



★「特別支援学校就職サポート隊あおもり」

県教育委員会では、障害のある生徒の働く力の育成や就職促進のための体制整備等を目指し、職場見学や就業体験等に協力していただける企業を登録しています。



問合せ先 学校教育課 特別支援教育推進室 TEL 017-734-9882

あおもり教育研究発表会2022「未来につなぐ青森の教育」

青森県総合学校教育センターの研究発表や、特色ある実践を重ねている県内の学校の発表等により、教育に関心を持つ方々と情報を共有し、本県教育の充実へつなげます。多くの方のご参加をお待ちしています！

日時 11月18日(金) 9:30~15:50

場所 青森県総合学校教育センター

内容

①センター研究発表「ICTの活用について」

- 国語 ●理科、物理、化学、生物、地学 ●音楽、図画工作、美術
- 外国語 ●家庭、技術・家庭 ●体育、保健体育

②センター2年目研究員研究発表

発表者：三浦健太郎、花田耕平、佐々木明子、工藤 敦、高田秀行、若杉知明、下山 翔、山口 星

③ICT活用実践発表

発表者：つがる市立森田小学校 教諭 前多 昌顕氏

④ICT活用に関する講演

講師：放送大学 教授 中川 一史氏

演題：「GIGAスクールと子どもの学びの現状と展望」

●申込方法/センターWebページの申込みフォーム

●申込締切/11月11日(金)まで

●対象/県内教職員、教育関係者、大学生、教育に関心のある方

●参加費/無料

〈昨年度参加者の感想〉

- それぞれの先生方の実践例を聴いて、ICTの在り方について考えさせられました。
- 学校教育の中で、教師側が何を目的としてICTを活用するのが大切だと感じました。
- 使用方法だけでなく、管理の仕方、情報モラルなども同時に指導していかなければならないと感じました。
- 生徒に直接接する現場の教師のために、さまざまなアプローチを考えながら研究に取り組んでいた、非常にありがたいと思いました。

〈展示もあります！〉

- 特別支援教育教材・教具展示会
- 2年目研究員の研究紹介
- 図書資料室にある書籍等の紹介
- センター研究紹介

青森県総合学校教育センターは、子どもたちの未来を創るため、所員の心と力を結集して、学校を支援します！



青森県総合学校教育センター イメージキャラクター「アプセくん」



詳しい情報・お申し込みはこちらから▶



問合せ先 青森県総合学校教育センター 教育相談課 TEL 017-764-1990

〈広告〉県では、財源確保などのため広告を掲載しています。なお、掲載する広告は、青森県が推奨するものではなく、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金

ひとりひとりの小さなお金。
そのお金に「誰かの助けになりたい」という
気持ちがこもって十人、百人、千人と集まれば、
大きな力に変わります。
赤い羽根は、小さなことをしています。
小さな活動をたくさん、何十年と続けています。
つまり、赤い羽根は、大きなことをしています。



支え合う人たちがいる